

あなたと 青山学院



地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

30万人の卒業生と母校をつなぐ「絆」

May 2013 No.12

今号の聖句

あなたがたは既にこの希望を、福音という真理の言葉を通して聞きました。
You have heard of this hope before in the word of the truth, the gospel that has come to you.

コロサイの信徒への手紙
第1章5節後半

大学学長 インタビュー



仙波憲一大学学長

ともに学び、探究し、 世界に発信する大学を目指して

2013年4月、東日本大震災の影響で1年間延期となっていた就学キャンパスの再配置が実施されました。これにより、すべての学部が、1年次から4年次、そして大学院まで、青山または相模原の同一キャンパスで学ぶようになりました。

青山学院にとっては1965年の世田谷（廻沢）キャンパス開学、1982年の厚木キャンパス開学、2003年の相模原キャンパス開学に続く大きな転換点といえます。そこで仙波憲一大学学長に、今回の就学キャンパス再配置と今後の大学の展望について伺いました。

就学キャンパス再配置の目的

—2013年4月から、青山・相模原キャンパスともに、学部の1～4年生と関連の各大学院の学生が同一キャンパスで学ぶ体制に移行しました。その目的やメリットについてお聞かせください。

「就学キャンパスの再配置」は「教育課程の再配置」であり、青山学院大学の教育を本来の形にする原点回帰の目的がありました。すなわち、同じキャンパスで学ぶことでカリキュラムの連続性を担保し、柔軟なカリキュラムを編成することにより、学生の学びの体制をよりよくするのが最大の目的です。

これまで人文・社会科学系学部においては、1、2年次と3、4年次で就学キャンパスが分かれていることによって、さまざまな履修上の制限が生じていました。新しいカリキュラムでは、各学問領域において早い時期から専門科目を履修したり、逆に、専門を学んでから「青山スタンダード」と呼ばれる教養科目を履修したり、学生たちにとって科目の選択幅が増え、自由度の高い余裕のある履修選択ができるようになりました。このことは、視野を広げ、教育の質的向上につながると確信しています。大学院との連携も強化し、教育研究の高度化を図っていきます。

また、上級生と下級生が同じ教室やさまざまな場で交流を持つようになることで、相互に刺激を受け、いっそう人間的成長が促されることを期待しています。

さらに、学年次間での交流の深まりと並行して、ディスカッションなど参加型の授業を増やし、授業形態にあわせた小教室を充実させていきます。

新しい就学体制に向けての準備

—青山キャンパスの再開発も着々と進み、ツインタワーの新校舎「大学17号館」が竣工しましたが、新しい就学体制に向けてどのような準備をされて

きましたか。ハード面、ソフト面の両面からお聞かせください。

○ハード面での準備

ハード面では、17号館に演習室、講義室、最新設備の各種教室を設置し、グループ学習用ラウンジや学生窓口、食堂、課外活動スペースなどを備えた学生の新たな活動の場としました。そのほか、図書館学習室な



17号館学生食堂

ど学生の居場所となる場所を可能な限り設けました。また、既存施設の配置を大きく見直して、動線も改善しました。例えば、学内各所に分散していた研究センターや院生研究室は総研ビル（14号館）に集約し、PC施設は2号館や15号館の機能を拡充することで学生数の増加に対応しました。

17号館の「本多記念国際会議場」建築に当たっては、多くの校友の方々からご寄付をいただき、ありがとうございました。国際会議場は、授業、国際会議、学会、学事催し物など多目的に利用してまいります。

○ソフト面での準備

ソフト面においては、何といてもカリキュラムの変更です。多くの学部・学科が今回の就学キャンパス再配置にあわせてカリキュラムを見直し、前述のように2年生から多くの専門科目が履修できるような科目配置としました。

授業時間帯も見直し、青山キャンパスでは従来と比べて、昼休みは40分から50分に、午後の休み時間は5分から15分に広げ、教室間の移動時間・息抜きの日間を確保するようにしました。

今後は女子短期大学と施設・時間割の共有を進め、女子短大生は大学の「青山スタンダード」科目を履修でき、大学生は女子短大の施設で実習を中心とした授業を受講できるような体制を作っていくことを検討しています。

○現在の状況

4月を迎えて青山キャンパスは学生数の増加によりキャンパスが混乱状態になることも想定されていたのですが、現在のところ比較的スムーズに対応できているというのが正直な感想です。学年初頭行事も無事に終了し、授業も順調にスタートしています。

混雑を心配した通学路については、通学路の要所に本学警備員を配置し、安全の確保に留意しています。学生食堂はやはり昼食時には混雑しているようですが、従来の食堂に加え、17号館に食堂を新設したほか、弁当売場を複数力所設け、学生ラウンジや屋外ベンチを増設して昼食をとれるように配慮しています。

履修登録に際しては、学生の希望に応えきれない部分が生じていることなどの課題もみえてきたので、不断に対策を検討していきます。



通学路

(2面に続く)

CONTENTS

学校法人	大学学長インタビュー	1
学校法人	大学学長インタビュー・今号の聖句	2
学校法人	青学ニュース	3
校友会	支部ニュース	6
校友会	校友会ニュース	7
校友会	アイビーグループニュース	8

校友会	部会・同窓会ニュース	10
校友会	あのことろ・そして・いま／大学卓球部女子監督 木村 行江さん	12
学校法人	Useful Information	13
学校法人	青学探訪「資料センター所蔵資料 紙上展示室 第1回－学院構内図－」	14
学校法人	青山学院からのお知らせとお願い	15
校友会	校友会本部	16